都市近郊での生きものブランド米の事例
湘南タゲリ米プロジェクト

三翠会　湘南タゲリ米プロジェクトリーダー
日本野鳥の会神奈川　幹事
樋口公平

1

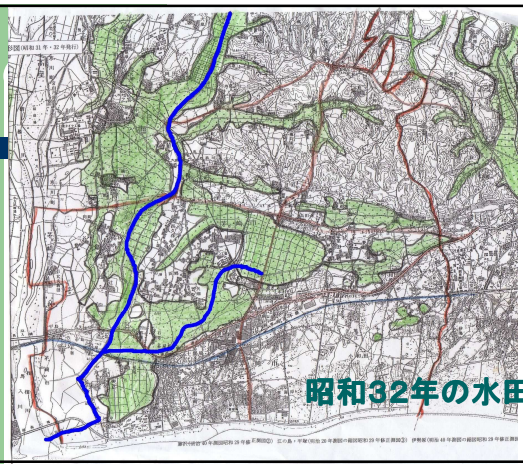
タゲリ

2

水田で越冬

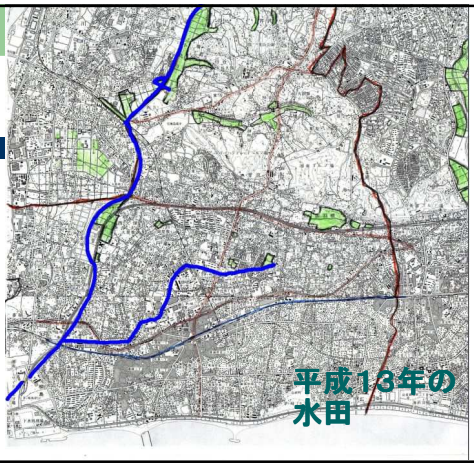
3

4



昭和32年の水田

5



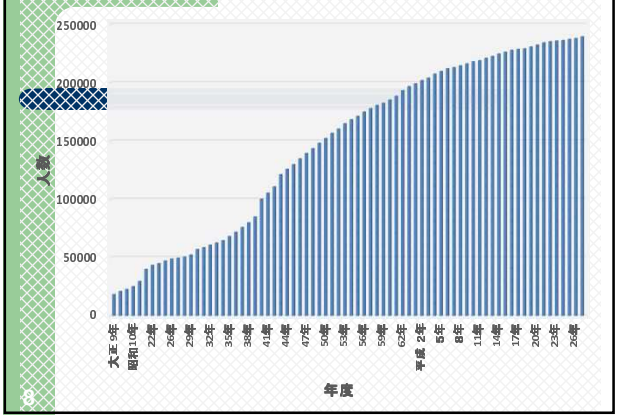
平成13年の水田

6

タゲリ米水田

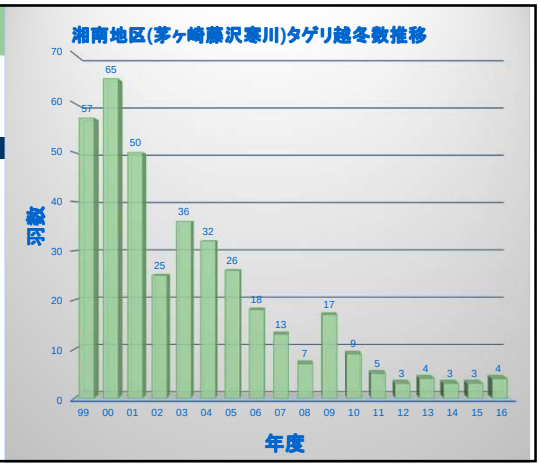
7

茅ヶ崎市の人口推移



8

湘南地区(茅ヶ崎藤沢寒川)タゲリ越冬数推移



9

農家が田んぼをやめる理由

- 兼業が多い。土日が農作業で大変
- 会社勤めの収入の方が割がよい
- 後継者問題
- 宅地化など、開発で土地が高く売れる
- 畑、果樹などへの転作
- 駐車場に転用しやすい。

10

水田の生態系

水田の多面的機能の経済価値

12

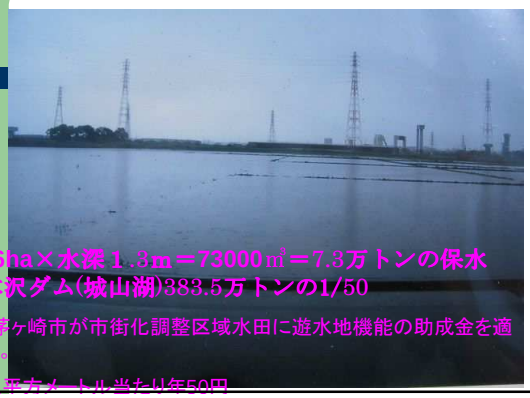
都市近郊の水田の価値

- 都市近郊の水田生物の最後の砦

- 洪水の抑制の価値
- CO2の吸収の価値
- 地域文化伝承の価値
- ヒートアイランド抑止
- 憩い、癒しの価値
- 環境教育の場

13

洪水時のタゲリ米水田



- 6ha×水深1.3m＝73000㎥＝7.3万トンの保水
- 本沢ダム(城山湖)383.5万トンの1/50
- 茅ヶ崎市が市街化調整区域水田に遊水地機能の助成金を適用。
- 1平方メートル当たり年50円

14

水田の多面的価値を換算　三菱総研のデータを参考

機能　/　面積	日本全国　255万ha	タゲリ米の里の水田 6ha	三翠会体験田 10a
◇洪水防止	3兆4,980億円	822.0万円	13.72万円
◇休養・安らぎ	2兆3,758億円	558.0万円	9.32万円
◇水資源涵養（※）	1兆5,170億円	356.0万円	5.95万円
◇土砂崩壊防止	4,782億円	190.0万円	3.18万円
◇土壌浸食防止	3,318億円		
◇有機性廃棄物処理	123億円	4.9万円	0.09万円
◇気候緩和	87億円		
合計（年間）	8兆2226億円	1,931万円	32.26万円

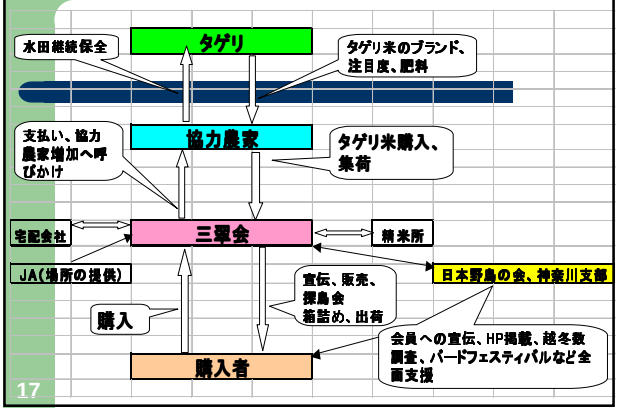
15

湘南タゲリ米

- 価値の分高く買上げ
- 5kg 3500円で販売
- 品種キヌヒカリ
- 農薬少ない、使わない農家も
- 5kgで畳8畳が守れる
- 食べるだけで保護活動
- 誰もが参加できる
- 生物に詳しい必要無い

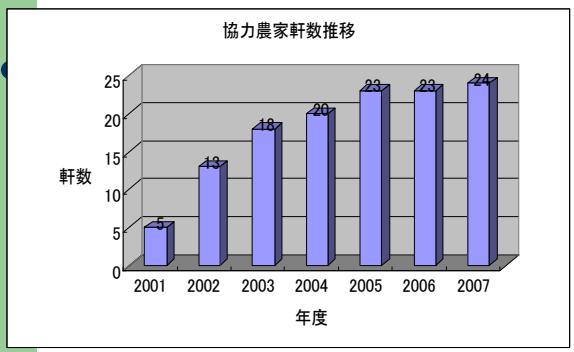
16

湘南タゲリ米のシステム



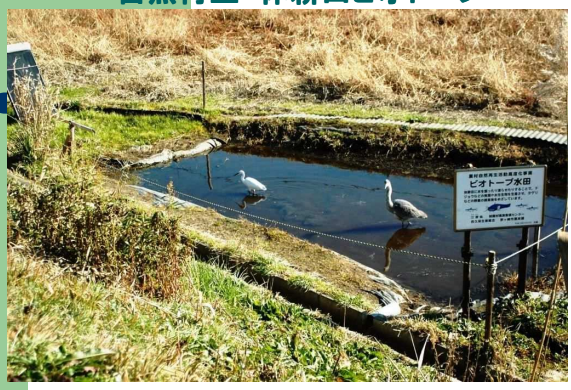
17

協力農家の推移



18

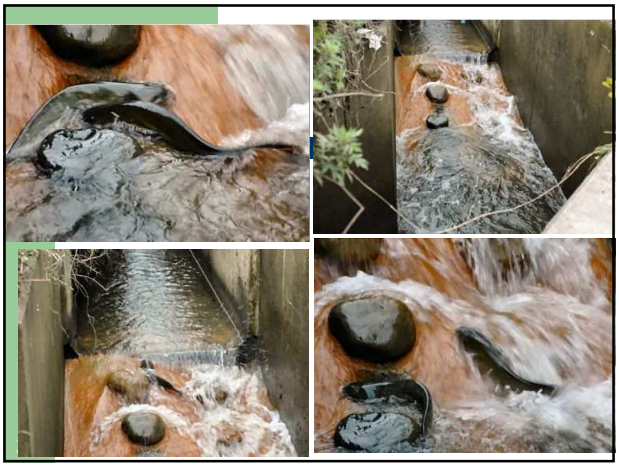
自然再生　休耕田ビオトープ



19

自然再生‥魚道　幹線水路内、水路から水田脇へ

20



【動画】水路内魚道を遡上する魚たち

22

水田で育つ稚魚

23

稚魚の流下を待ち受けるサギたち

24

販売戦略

- 販売増・・・・・自然保護エリア拡大
- 販売継続・・・・・自然保護の継続

25

新規の購買層の開拓

- とてもよいことをやっていますね。でも・・・・・
- 親戚からお米をもらうので・・・・・
- 無農薬を食べるので・・・・・
- 玄米を食べるので・・・・・
- 夜は飲むのでご飯は・・・・・
- お米を買うのは奥さんなので・・・・・

⇒理解はあるが売れていない購買層

26

地域の経済活動に組み込む

★地域の企業団体との連携

- 食品製造
- 流通
- 飲食店
- 公的機関

⇒地産地消、消費拡大

⇒地域経済に欠かせないものとなる

⇒認知度アップ

27

本格米焼酎　たげり

28

焼酎からタゲリ米が広まる

タゲリの越冬

→タゲリ米の販売(農家)

→焼酎の製造販売(蔵元)　茨城県

→焼酎販売(酒屋)(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)

→焼酎購入販売(飲食店)

→焼酎購入(贈答用、個人消費)(個人)

29

黒米2010開始

- 無農薬栽培をお願いしやすい。
- 混ぜて炊くため、すでにお米を別に入手の人にも
- 少量販売のため販売単価が安くなり購入しやすい
- 品種の違う水田にもお願いしやすい
- 市価が高い為高く買上げられる。
- 健康志向
- 白米の方に追加購入

30

茅ヶ崎市ふるさと納税のお礼品に

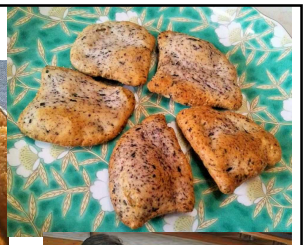
- 2015年度からスタート
- 多数の申し込みがありました。
- 他の返礼品の会社との
  つながりから展開へ

31

もち米で展開

32

お煎餅　三河屋 麻Q呂



33

饅頭　茅ヶ崎そだち　富士美

34

お弁当　濱田屋の幕の内弁当

35

料理屋　本牧まかど豆松

36

積小為大(せきしょういだい)

- 二宮尊徳　小田原の偉人の言葉
- 小さな積み重ねの継続が大きなことを為す。
- 環境の変化に合わせられる生物が生き残るように経済活動の中でも進化し続けて生き残っていく

37

38